

檜原だより

学校評価アンケート 結果・考察号

令和 7 年 10 月 28 日

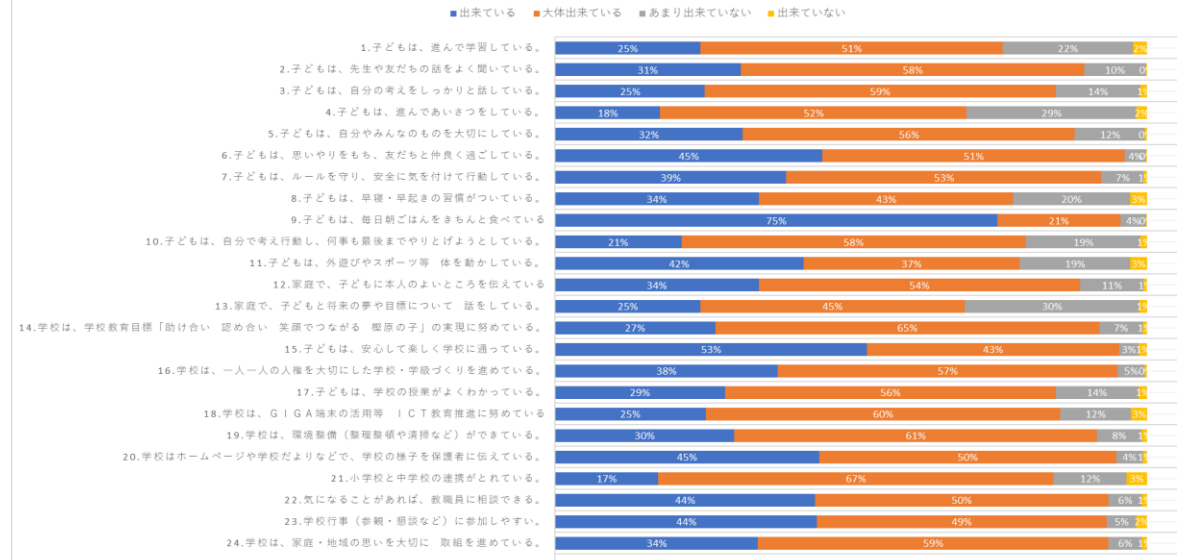
檜原小学校

校長 田島 永久

児童 アンケート結果



保護者 アンケート結果



【児童アンケート結果より】

◎

・1.「私は、進んで勉強している」17.「授業はよくわかる」2.「私は先生や友だちの話を聞いている」の質問に対し、9 割を超える児童がそう思う・大体そう思うと答え、学習意欲が高まっている。

・7.「じぶんやみんなのものを、たいせつにしている」8.「ともだちとやさしくし、なかよくあそんでいる」15.「がっこうにあんしんして、たのしくかよっている」16.「みんながたのしいとおもえる、いじめのないクラスにしようとしている」のどの回答においてもそう思う・大体そう思うと答え肯定的な答えが9割以上となっていて、学校は楽しく安心して過ごせると思う児童が多くいる。

▲

・3.「私は、授業中 自分の考えをしっかりと話している」では、肯定的な答えは7割程度となり、自分の考えを話すことへの抵抗感があると言える。

・20.「はやね・はやおきができている」の項目において出来ていない・あまり出来ていないと答えた児童が2割近くとなっていて、今後も生活習慣を改善できるような取組が必要である。

・読書時間についての回答では、30分以上読書をしている児童が半数を切っていて、読書活動についての取組が必要である。

【保護者アンケート結果より】

◎

・6.「子どもは、思いやりをもち、友だちと仲良く過ごしている」5「.子どもは、安心して楽しく学校に通っている」16.「学校は、一人一人の人権を大切にしたい学校・学級づくりを進めている」の項目で 95%以上の方が肯定的な回答をしている。子どもたちが楽しく毎日過ごせると感じていると保護者がたくさんいることが分かる。

・9.「子どもは、毎日朝ごはんをきちんと食べている」の項目から、保護者の方の協力により、子どもたちは毎日きちんと朝ご飯を食べて登校していることが分かる。

▲

・4.「子どもは、進んであいさつしている。」では、児童の5割が出来ていると答えているが、保護者や教職員のうち、出来ていると感じているのは1割強となっている。児童は挨拶をしているつもりだが、相手や周りの大人に十分に伝わっていないと言える。

・20.「小学校と中学校の連携がとれている。」は肯定的な回答が8割ではあるが、連携が取れているか分からないとの声もあった。小中連携についての情報を今後保護者の皆様にも分かるようにお伝えしていきたい。

【今後の対策・取組】

・今年度、アンケート結果を5、6年の子どもたちにも示し、よりよい学校にするためには、どうすればよいかを考える機会を設けたところ、一人一人が自分の属している委員会で何かできないかと案を考えたり、普段から自分がもっと意識をして、低学年にも呼びかけていけないと考えたりすることができました。今後委員会活動等とタイアップしながら、自分の学校をよりよくしていく意識を高学年がもつことにより、学校の現状を自分事として考えることができるようになっていくのではないかと考えています。

・子どもたちの生活習慣や読書時間については、ご家庭の協力をいただきながら見直しをしていく必要があると感じました。生活習慣については、今年度も、保健・給食・運動委員会を中心として、「健康教育推進プロジェクト」を進めています。その中で子ども達が主体的に取組を進め、全校に呼びかけるなどしていきたいと思います。また読書については、朝の10分間の読書時間で少しずつ本と親しむだけでなく、図書委員会、学校司書、読み聞かせサークルの方々とも連携を取り、子どもたちが少しでも本の楽しさに触れ合える時間を増やしていけるよう取り組んでまいりたいと思います。

・保護者の方から、「旗当番の際、高学年になると挨拶の声が小さくなっていると感じる」との声もありました。榎原中ブロック3校のつながりプロジェクトでも「あいさつ」をテーマにしている月もあり、今年度も児童会を中心にあいさつ運動を実施し、自分たちから挨拶の輪を学校全体に広げていけるよう取り組んでいきたいと思います。ご家庭でも、挨拶を交わすことを大切にさせていただきますよう、よろしくお願いいたします。

・「私は、友だちにやさしくし仲良く遊んでいる」では、9割以上の子どもたちが肯定的な答えであり、「私は、学校に安心して通っている」、「私は、みんなが楽しいと思えるいじめのないクラスにしようとしている」で、いずれも9割以上の子どもたちが、肯定的な答えであることと連動していると考えられます。このように「学校生活において、友達とのかかわりを大切にしていこう」としている児童が多くいる一方で、肯定的でない答えもあることを教職員全体が受け止め、学校での子どもたちの様子をしっかりと見たり、子どもたちの困りに寄り添ったりしながら、子どもたちが楽しく学校生活を送れるように支援していきたいと思います。

子どもたちは毎日の生活の大半を学校で過ごしています。毎日同じことの繰り返しではなく、日々新しいことに出会い、考え、成長しています。子どもたちの成長はなかなかすぐには目に見えない部分もあるかとは思いますが、その成長にはお家の方のサポートが欠かせません。子どもたちの出来ているところや成長していることに目を向けていただきたいと思います。会話の中で褒めてもらったり、励ましてもらったりすると、子どもたちはさらに次の成長に向かって頑張ります。学校では今後も、「助け合い 認め合い 笑顔でつながる 榎原の子」を目指して、担任をはじめ、教職員全員で榎原の子どもたちを見守っていきます。保護者の方へは、今後もホームページやお便りで学校の取組等を発信し、情報を共有できるよう努めてまいります。今後とも本校教育へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【自由記述欄より】

・金曜日の宿題がないことで、家庭の時間にゆとりができ、大変よいのではないかと感じています。

・先日町探検のボランティアに参加させて頂きました。いつも親身に子どもたちに接していただいている先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。今後もこのような機会があれば参加させていただけたら幸いです。

・上靴と外履きが混ざっている部分があるので、参観や懇談の時にどこで履き替えるか戸惑うし、学校で履くとスリッパに砂がたくさんついていて抵抗があります。靴箱が校舎の中にあると良いなと思うのと、上靴を 1～2 週間に一度は持ち帰って洗うようにしてほしいです。

⇒児童の数が多く、靴箱を一か所に置くと混み合うこともあり、場所を分散している結果、保護者の皆様には混乱を招くことになってしまい申し訳ありません。保護者の方には、1階の玄関で靴を履き替えていただくようお願いをしておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。また、子どもたちの上履きは、月に 1・2 度持ち帰るように学校でも声をかけていますが、保護者の方も気づかれたときには子どもたちに声をかけていただけるとありがたいです。

・運動会についてですが、コロナ前のように全学年が縦割りチームになり競い合い子どもたちが楽しめるような構成にさせていただけたらと願います。

⇒運動会については、今年度については、2色対抗とし、得点を付けて実施します。どのような運動会が、子どもたち一人一人が活躍し、成長していけるのかについて今後も教職員で検討していきたいと思います。

・水着、ラッシュガードは何回かしか使わないものなので、色など自由にしてもらえると助かるなあと思います。

⇒学校の学習で使用するものですので、華美にならないようにお願いしています。何かご質問等があれば担任までご連絡ください。

今後も榎原小学校教職員一丸となって、子どもたちの健全なる成長のために取組を進めてまいります。気になることや不明な点等何かございましたら、いつでもご連絡いただければ幸いです。